

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 三市合同文化事業負担金
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	1	市民の文化・芸術活動の育成・支援
小分類	2	文化活動を担う人づくり
主要な施策	1	文化活動との出会いの場づくり
事務事業番号	002	事務事業コード 53121002 事業開始年度 平成 9 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	三市合同文化事業負担金
------	------	------------	-------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市民
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 3市(登別・室蘭・伊達)で実行委員会を組織し、各市の負担金により、輪番で文化事業を開催する。 【開催内容】 平成17年度 PMF2005ウイーン木管アンサンブル演奏会(開催地:室蘭市) 平成18年度 三遊亭楽太郎&三遊亭好楽 落語二人会(開催地:登別市) 平成19年度 藝大 アートフェスティバル in 伊達(開催地:伊達市) 平成20年度 富良野GROUP公演 ニングル(開催地:室蘭市) 平成21年度 井上あずみ&ドリミングファミリーコンサート(開催地:登別市) 広域行政懇談会で位置づけられた三市共同プロジェクトの事業である。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 3市の負担金を合わせて文化事業を実施することにより、市民がより質の高い文化に触れることができ、地域文化の向上につながる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 三市合同文化事業開催要綱

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	参加者数	人	目標値	650	800	800	650	800
			実績値	530				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称 生涯学習振興基金積立金	千円	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000
	一般財源	名称	千円						0
合 計				1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	3,000
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	595	69			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		595	69			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後各市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 広域行政懇談会に位置づけられた三市共同プロジェクト事業である。市民に高度な文化を提供することは、心を豊かに生活にゆとりと与えるので、事業を継続する必要がある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 鑑賞者対象のアンケート調査で「満足」との回答を多く得ており、成果は上がっている。また、ホールの構造や当番市のニーズにより、3市で実施するジャンルが異なるため、毎年異なる文化を楽しむ事ができる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ アンケート調査などに基づいたニーズの高い文化事業を実施することで、より多くの市民に質の高い文化を提供することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業は3市の広域的な文化交流事業であり、近年各市とも予算の縮減により企画の規模が縮小している中で、3市の予算を合わせて一つの大きな文化事業を実施するという取り組みは今後更に有益なものとなることから、中途な事業としないためにもこれ以上の削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成21年度は登別市が当番で、本事業では初となる子ども向けコンサートであったが、新型インフルエンザの影響により参加したいが行けないとの声が多数聞こえた。特に本市においては、2市に比べ収容人数が少ないことから、チケット収入が見込めず、大きな企画は難しい状況にある中で、本事業は非常に有益なものとする。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）